

事 務 連 絡

平成30年12月26日

各国公私立大学就職支援主管課
各公私立短期大学就職支援主管課
各国公私立高等専門学校就職支援主管課

御中

文部科学省高等教育局学生・留学生課

大学生等の求職者に対する公正採用選考の取組について（周知）

この度、厚生労働省から、大学生等の求職者に対する公正採用選考の取組について周知依頼がありました。

就職の機会均等を確保するための雇用主における公正採用選考の推進については、憲法に規定される職業選択の自由や法の下での平等（人種、信条、性別、社会的身分又は門地）などの理念を実現するための重要な課題の一つとされているところであり、厚生労働省では、これまでも雇用主に対して、公正採用選考システムの確立に向け、各種の啓発・指導を行っているところです。

こうした中、新規高等学校卒業者においては、例えば家族に関することや、本籍・出生地などを面接時に尋ねるなどの就職差別につながるおそれのある事象（以下「おそれ事象」という。）について、新規高等学校卒業者から学校を通じて報告する手段が概ね設けられており、ハローワーク又は都道府県労働局より雇用主に対しておそれ事象（年間9百件程度）に関する啓発・指導が行われているところです。

一方で、新規大学等卒業予定者においては、ハローワークへのおそれ事象に関する相談が年間で数十件程度であるという状況を踏まえると、公正採用選考に関する周知が十分に行き届いていないことも想定されます。

つきましては、各大学等におかれましても、就職活動を行う学生に対して別添のリーフレットを適宜説明・配布していただき、新規大学等卒業予定者における公正採用選考の実現に向けた取組が図られるようお願いいたします。

また、学生から大学等に対しておそれ事象に関する相談がなされた場合には、近隣のハローワークにも相談するように促していただきますよう、併せてお願いいたします。

なお、厚生労働省において、公正採用選考の取組に係るホームページを開設しており、こちらに別添の求職者向けのリーフレットを掲載しておりますので、適宜御参照・御活用ください。

(URL : <https://kouseisaiyou.mhlw.go.jp/pdf/08.pdf>)

【本件連絡先】

文部科学省高等教育局学生・留学生課
就職指導係 03-5253-4111（内線 3354）



職雇就発 1226 第 2 号
平成 30 年 12 月 26 日

文部科学省高等教育局学生・留学生課長 殿

厚生労働省職業安定局
雇用開発部雇用開発企画課
就 労 支 援 室 長

大学生等の求職者に対する公正採用選考の取組に関する周知について（依頼）

就職の機会均等を確保するための雇用主における公正採用選考の推進については、憲法に規定される職業選択の自由や法の下での平等（人種、信条、性別、社会的身分又は門地）などの理念を実現するための重要な課題の一つとされているところであり、厚生労働省としてはこれまでも雇用主に対して、公正採用選考システムの確立に向け、各種の啓発・指導を行っているところです。

こうした中、新規高等学校卒業者においては、例えば家族に関することや、本籍・出生地などを面接時において尋ねるなどの就職差別につながるおそれのある事象（以下「おそれ事象」という。）について、新規高等学校卒業者から学校を通じて報告する手段が概ね設けられており、ハローワーク又は都道府県労働局より雇用主に対しておそれ事象（年間 9 百件程度）に関する啓発・指導を行っているところです。

一方で、新規大学等卒業予定者においては、ハローワークへのおそれ事象に関する相談が年間で数十件程度であるという状況を踏まえると、公正採用選考に関する周知が十分に行き届いていないことも想定されます。

つきましては、貴省におかれましても、大学等から新規大学等卒業予定者に対して、別添の求職者向けのリーフレットを適宜説明・配布いただく等により、新規大学等卒業予定者における公正採用選考の実現に向けた取組が図られるよう、格段の御配慮をお願い申し上げます。

また、新規大学等卒業予定者から大学等の就職支援担当課等に対しておそれ事象に関する相談がなされた際には、近隣のハローワークにも相談するよう促していただきたく、併せてお願い申し上げます。

なお、今般、公正採用選考の取組に係るホームページを開設し、別添の求職者向けのリーフレットを掲載しておりますので、御活用いただきますようお願い申し上げます。

(URL : <https://kouseisaiyou.mhlw.go.jp/pdf/08.pdf>)

別添

ご存じですか？

採用面接で聞かれたその質問、

実は……



不適切です。

採用面接やエントリーシートで聞かれていませんか？

本籍や出身地、家族構成や親の職業、住居の状況、購読新聞や愛読書等、仕事をするうえで必要のない事項について、たずねられたことはありませんか。

厚生労働省は、本人の適性や能力に関係のないこれらの事項によって採否が決定されないように、事業主への啓発・指導を行なっています。

(求職者のみなさまへ)

詳しくは

公正な採用選考

検索

ハローワークでは、事業主に対して、応募者に広く門戸を開き、適性・能力のみを採用基準とする「公正な採用選考」を実施するよう啓発しています。ポイントは以下の2点です。

1 応募者に広く門戸を開く

・特定の国の出身者、同和関係者、難病のある人、LGBT等の性的マイノリティなどの特定の人を除外せず、求人条件に合致する全ての人が応募できるようにすること

2 本人のもつ適性・能力のみを基準にして選考する

・応募してきた人が「求人職種の職務を遂行するにあたり、必要となる適性や能力をもっているか」ということのみを基準にして採用選考を行うこと

※職務内容によって、適性・能力を判断するのにどのような事項が適当であるかは異なりますが、「本人に責任のない事項」や「本来自由であるべき事項(思想・信条にかかわること)」は、そもそも本人の適性・能力とは関係ないことです

「本人に責任のない事項」や「本来自由であるべき事項(思想・信条にかかわること)」など就職差別につながるおそれのある具体的な内容は以下の通りです。

就職差別につながるおそれがある 14 事項

本人に責任のない事項

本籍・出生地

家族

住宅状況

生活環境・家庭環境

本来自由であるべき事項 (思想・信条にかかわること)

宗教

支持政党

人生観・生活信条

尊敬する人物

思想

労働組合(加入状況や活動歴など)、
学生運動などの社会運動

購読新聞・雑誌・愛読書

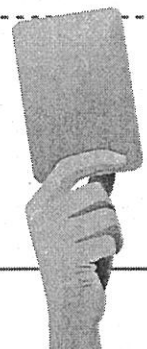
採用選考の方法

身元調査の実施

全国高等学校統一応募用紙・JIS規格
の履歴書(様式例)に基づかない事項を
含んだ応募書類(社用紙)の使用

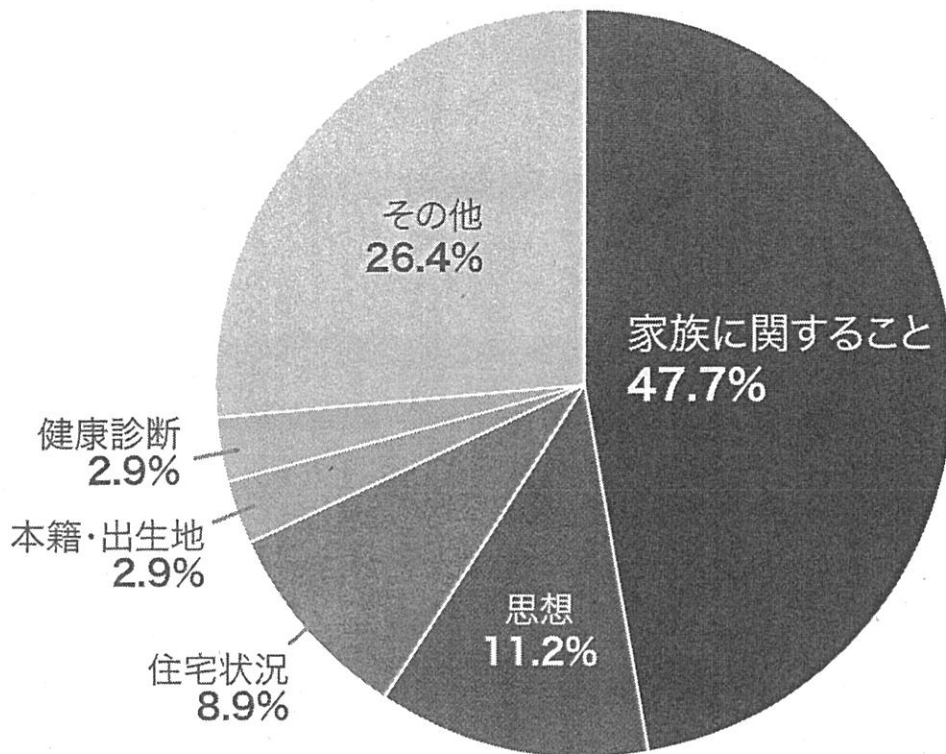
合理的・客観的に必要性が認められない
健康診断の実施

※ここに記載したものに限られるわけではありません



不適切な採用選考の実態

応募者から「適性・能力以外の事項を把握された」との指摘があったもののうち、「家族に関すること」についての質問が約半数を占めています。



※平成28年度にハローワークで把握した
1,134件の内訳

求職者の個人情報の取り扱いについて

- ・職業安定法では、事業者は募集に応じて労働者になるようとする者等の個人情報を収集、保管、使用する際は、労働者の募集業務等の目的の達成に必要な範囲内で行わなければならない旨を規定しています
- ・法に基づく指針が公表され、原則として収集してはならない個人情報等を規定しています

次の個人情報の収集は原則として認められません

- 人種、民族、社会的身分、門地、本籍、出生地、その他社会的差別の原因となるおそれのある事項
 - ・家族の職業、収入、本人の資産等の情報
 - ・容姿、スリーサイズ等差別的評価につながる情報
- 思想及び信条
 - ・人生観、生活信条、支持政党、購読新聞・雑誌、愛読書
- 労働組合への加入状況
 - ・労働運動、学生運動、消費者運動その他社会運動に関する情報

個人情報の収集は、本人から直接又は本人の同意の下で収集することが原則です

違反したときは

- ・違反行為をした事業者は、職業安定法に基づく行政指導や改善命令等の対象となる場合があります
- ・改善命令に違反した場合は、罰則(6ヶ月以下の懲役又は30万円以下の罰金)を科す場合もあります

その質問、 不適切です！

採用選考では、応募者本人の適性と能力のみを基準にするよう
事業主に啓発・指導しています。

採用面接時に多い不適切な質問・指示事例

- 次の面接に進む前に、戸籍謄本を提出してください
- ご家族のお仕事について教えてください
- 大きな家にお住まいのようですが、働く必要があるのですか
- 先日行われた選挙には行きましたか
- あなたの購読新聞や愛読書があれば教えてください

不適切なエントリーシート項目事例

- 本籍や帰省先記入欄
- 家族構成や家族の連絡先記入欄
- 思想や信条に関すること、愛読書欄

上記のような質問があった場合、その他ご不明な点があれば
お近くのハローワークにご相談ください